

# ハーモニー

第5号

令和元年 11月25日

文責 原 真奈美



10月9日（水）教育課程研究協議会では、授業者、伊藤佳代先生（高遠中）の授業、そして、午後の研究協議会では、研究部主任、一ノ瀬武志先生（美篤小）ありがとうございました。参観された先生方、充実した一日を過ごせたことと思います。

今回は中学校での一大イベント！ 文化祭・音楽会の様子をまとめました。

## 中学校 2学期 ～文化祭・音楽会～

	文化祭テーマ / ♪ 音楽会での工夫・音楽科としての想いなど
辰野中	<p><b>第54回樺樹賞(きよじゅこう) 祭</b>                      生徒一人ずつやクラス、全校の取り組みを結実させようと掲げたテーマ「咲かせ～この一瞬の想いを 願いをカタチに～」各種ステージや展示など多彩なプログラムを通じて学びの成果を発表し、今年の生徒会テーマ「笑い」を合わせて、全校で笑顔の花を咲かせる楽しい文化祭</p> <p>♪ 音楽会はコンクール形式なので賞に目が向いてしまいがちだが、クラスで心を一つにして楽曲に向き合うことも大切ということを伝え、練習に取り組ませた。</p>
箕輪中	<p><b>第47回ふきはら祭</b> スローガン「熱中！夢中！箕中！友と創る最幸の青春(ものがたり)」一つのことに熱中し、友だちと もっと幸せな中学校生活の思い出を残す文化祭</p>
南箕輪中	<p><b>第50回若竹祭</b> スローガン「全力～全校で創る全力の若竹祭～」50回記念の文化祭</p>
伊那中	<p><b>第72回泉が丘祭</b> テーマ「Start(スタート)～一人ひとりが踏み出す一歩～」学校生活でやりたいことが見つからない生徒も、何かを探せる文化祭</p> <p>♪ コンクール形式の音楽会。歌詞を大事に表現することに力を入れ、曲に合った発音で歌うことを意識させて取り組ませた。</p>
東部中	<p><b>第51回すす竹祭</b> テーマ「一歩～新時代の幕開け～」令和の時代を迎えてこれまで以上に充実し、盛り上がり、大人になっても記憶に残るような文化祭</p> <p>♪ 文化祭と別枠でのコンクール形式の音楽会。</p>
西箕輪中	<p><b>第52回紅葉祭</b> テーマ「Flash(フラッシュ)～全員にスポットライトを～」みんなの頑張りに光を当て、一人ひとりが主役になって輝ける文化祭</p> <p>♪ 詩の内容を感じ取ることやデモ演奏などから音楽を感じ取って表現してほしいと願って取り組ませた。</p>
春富中	<p><b>第55回矢羽根祭</b> テーマ「Go on a Journey～いざ新時代、自分の手で切り拓け～」感謝を伝えられる文化祭</p>

<p>長谷中</p>	<p><b>第54回くろゆり祭</b> テーマ「SHINE～輝け 長谷中生の笑顔～」 一人ひとりの力を発揮して地域の人と楽しめる文化祭</p>  <p>♪ 各クラス10人から15人とは思えないほどの迫力がある歌声のクラス合唱を発表できた。日々、ふるさと長谷のために活動している全校生徒で歌う「いつまでも」のさび『ふるさとよ』で、生徒一人ひとりが長谷の風景や長谷への想いを持てるような歌声をめざそうと話し合いをした。</p>
<p>高遠中</p>	<p><b>第61回聖桜祭</b> テーマ「SAY！」 全校生徒が意見を出し合って作り上げる文化祭 ♪ 歌詞の内容や自分たちの思いにそった表現の工夫ができるよう練習に取り組みさせた。学年ごとの積み重ねを感じられるような選曲に心がけた。</p>
<p>宮田中</p>	<p><b>第61回梅樹祭</b> テーマ「『笑』～百花繚乱 笑顔あふれる新時代のステージを～」 今まで積み重ねてきたことを梅樹祭でやり、その達成感や喜びから生まれた笑顔でいっぱい の文化祭 ♪ 楽曲の背景や詩を理解し、自分なりに表現し、共鳴した時の感動を味わって欲しいと願い、学年のプライドが保てるような聴きごたえのある歌声を工夫した。</p>
<p>赤穂中</p>	<p><b>第63回白鈴祭</b> テーマ「虹色～広げよう笑顔の輪～」 「十人十色」の言葉のように全校生徒 730 人が持つ個性の「色」を出し合い七色の虹のように輝く魅力的な文化祭 ♪ 文化祭とは別枠のコンクール形式の音楽会。ポップスではなく、純粋な合唱曲の選曲。</p>
<p>東中</p>	<p><b>第55回桑東祭</b> テーマ「彩（いろどり）」 一人ひとりのカラー（個性）を発揮して、全校として彩り豊かな文化祭 ♪ 歌詞やメロディーを大切に、思いをもって歌うことを目標に取り組みさせた。</p>
<p>飯島中</p>	<p><b>第51回清龍祭</b> テーマ「零＝無限の可能性」（零＝をれいわと読みます） 「令」と「零」を掛けてゼロから生まれる無限の可能性 令和の始まりを新たな未来への第一歩とし、地域ともつながる中で生徒一人ひとりが主役になって盛り上がる文化祭 ♪ 各クラスや各学年の歌声を楽しんだり刺激をもらったりする場として、どの発表も等身大の良いステージ発表ができた。 これは良い選曲だったな～！と思える数曲を紹介します。</p> <p>① 混声三部合唱「愛をあげよう」作詞：おかべてつろう 作曲：三宅悠太 1 学年合唱で歌いました。ユニゾンも比較的多く（テノールのサビのはじめの D の音がうまく当たるとかっこいい）、サビ前の 3 パートのかけあいがちょっと難しいですが、1 年生にとっては程よいハードルになったようです。平成天皇がこの曲をお気に召して楽譜の送付をご依頼されたというエピソードもあります。</p> <p>② 混声三部合唱「小さな勇氣」作詞作曲：梅野知子 この曲があることを同僚の職員から教えてもらったのですが、どちらかという小学校用の同声二部合唱が有名なようです。混声三部合唱版は@ELISE で販売されており、同声二部合唱版も十分素敵でしたが、より肉厚な感じに作られていました。構成もシンプルなので表現も深めやすく 1 年生にぴったりだと思います。</p> <p>③ 混声三部合唱「ぼくはぼく」作詞：工藤直子 作曲：三宅悠太</p>



私は三宅悠太さん推しなのででしょうか…(①の曲も三宅さん作曲)。この曲は今年度の全校合唱の曲として選曲しました。左の写真のように、歌が得意な3年生3人がガイドボーカルで引っ張り、他の生徒はそれを聴きながら音を覚えるといった「一斉音取り集会」を行い、短期間で仕上げることができました。この曲は職員間でもとても好評で、「歌詞が短いから覚えやすい」「旋律が自然と頭に入ってくる」と

口々に言ってもらえました。歌詞も、色付きの羽やきれいな声がほしいカラスが、それでも「これがぼくなんだ」と自分を認めて飛んでいくといった内容で、「めっちゃいいやん…」「これぞ生徒たちに願う姿だ…」と感銘を受けた1曲です。来年もこの曲がいいかも…。

中川中

**第44回巻ヶ原祭** テーマ「It's 笑 time～咲かせよう！！笑いの花～」  
 全校生徒が笑顔になって楽しめるイベントになって、笑いの花をいっぱい咲かせた文化祭  
 ♪ 学年合唱では合唱のよさを味わえる曲、クラス合唱では思いをもって歌えるよう生徒自身が歌いたい曲の選曲の工夫。